令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立鹿島中学校

【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題(○成果/●課題)

_	[1] なれてに対する時里」にない。これに成本と味色(○成本)。 中味色)		
	1年生	2年生	
国語	 ○文法や語句の授業の後に、ミニテストを行ったことで、学習内容が定着していると思われる。 ○授業で、「書く」機会を増やし、教員が添削したり、生徒のよい文章を紹介したりしていることから、文章を書く力が付いていると思われる。 ●話を聞きながら、話の要点を的確に記録するスキルを学習する必要がある。 	 ○文法や漢字などはミニテストやブリント学習を行ったことで、学習内容が定着してきたと思われる。 ●文章を書くことに苦手意識を持っている生徒が多いので、授業の中で「書く」機会を増やしていく必要がある。 	
数学	 ○正の数・負の数の大小関係、絶対値について理解が定着している。 ○平面図形において、操作活動により位置関係や移動についての理解が進んだ。 ●文字式の減法、比例式を解くことにおいて課題が見られる。 ●文章問題を解くための1次方程式を立式することに課題が見られ、応用問題に触れる機会を増やすことが必要である。 	○「数と式」において基礎計算などの知識・技能が定着している。 ○学習者用デジタル教科書を使用したことで、図形領域の理解が進んだ。 ●「一次関数」、「図形」の活用領域において思考・判断に課題が見られる。 ●連立方程式の速さと時間と距離の問題において、未知数を文字に置きかえ、立式することに課題が見られる。	
英語	○長文の読み取りや単語の並べかえによる英作文など、読むことや書くことにおける基本的な力は定着していると思われる。 ●対話文の読み取りや対話の流れに沿った英作文について目標値を下回っているため、条件に合った英作文をする機会を増やす必要がある。	○日常的な話題を聞いて、その概要や要点を捉える力が少しずつ定着してきている。 ○文構造や文法事項などの基礎的な力が概ね定着してきている。 ●まとまりのある英文を読んで、その内容を捉えることに課題が見られる。 ●対話の流れや場面、条件に応じて、相手に伝わるように英文を書くことに課題が見られる。	

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題(○成果/●課題)

Ī	1年生	2年生
-	た。様々な活動において自らの思いを言語化していくことで自分のよさや他人のよさを確認し合い、互いに高め合う活動につなげることができたと考える。	い面が見られる。日常生活内での前向きな教職員の声掛けや学校外人材の積極的活

【3】「意識調査に関するデータ」(教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています)



